



336-A-1R-3Z

**MATSUYAMA
SHIRASAGI
LIONS
CLUB**

松山白鷺ライオンズクラブ会報

しらすぎ



VOL.22 No.2 2013. November.
VOL.22 No.2 2013. November.

2013～2014年国際会長
バリーJ・パーマー
国際会長テーマ
『夢を追いかけてよう』



ライオンズクラブ国際協会336-A地区
ガバナー 松前 龍宗
ガバナー・スローガン
『ときめく 明日へ WE SERVE』
ガバナー・キーワード
「真価発揮」



松山白鷺ライオンズクラブ

会長 黒田 浩

会長スローガン

『原点回帰、白鷺オンデマンド
de We Serve!』



会 長 挨拶

『原点回帰、白鷺オンデマンド de We Serve!』

早くも季節は初冬を迎えましたが、会員の皆様は残り少ない秋をどのようにお楽しみでしょうか。三つの委員会さんでは委員会旅行に出かけられ、より会員相互の親睦が深められた事とお慶びいたします。

今期小生のスローガンとして「原点回帰、白鷺オンデマンド de We Serve!」を掲げさせて頂きましたが、“SHIRASAGI on demand” というワードもすっかりお馴染みとなった気がいたします。

それはさて置き、過日1R 新会員スクールに長島さんと参加する機会がありました。新会員さんとは別テーブルにて「ライオンズの質の向上について」と言うテーマでディスカッションが行なわれ、奇しくも小生が登壇して発表する事になった訳です。毎度のように起承転結には話はまとまりません。

端的に申しまして、「各人各様な価値観の方が集っている組織ですから、友情と寛容の精神のもとにライオンとしての品性を自己研鑽する。」との見解を述べました。

残り任期も少なくなりました、以降は獅子奮迅にて臨んでまいります。



会長 黒田 浩



終身会員証書授与
八木 方子さん



終身会員証書授与
二神 貞雄さん



10thマイルストーンシェブロン授与
原田 寛さん



松山白鷺ライオンズカップ少年少女空手道選手権大会



青少年育成・国際関係委員長 坂井 美幸

去る8月25日 青少年委員会の最大行事である空手大会が開催されました。

今年は、毎年参加されるデンマークの選手の他に、遠く南アフリカからも参加がありました。また中村知事がプレゼンターとして駆けつけていただきました。

ライオンズメンバーの皆様そして如水会館の方々のご尽力により成功裡に終われましたこと心より感謝申し上げます。

大会運営をスムーズに進められるようにと運営マニュアルを明関さん 泉本さんが作成して下さいました。何もわからなかった私にも全体把握が容易にでき助かりました。

大会翌日、計画委員会さんが外国選手の歓迎会を例会後に開催して下さいましたので、多勢のライオンズメンバーにより大いに盛りあげられました。

みなさま 本当に沢山のご協力をありがとうございました。

開会式風景



受付風景



試合前の最終練習風景



進行 八木方子



国歌斉唱



開会宣言 第1副会長 藤代 朋子



大会会長挨拶 会長 黒田 浩



絆を深める記念品交換



選手宣誓 堀江小学校6年 竹田 智哉君

POINT&K. O. ルールに則る組み手を行うこと。大会関係者、ご指導頂いた先生方、そしてご両親への感謝の言葉、世界中の仲間へ届く組み手で絆を深めたいと本当に素晴らしい選手宣誓でした



ルール説明風景



審判宣誓



試合風景



閉会式風景



大会総評
POINT&K.O.ルール協会
会長 佐藤 勝昭



表彰式



愛媛県知事賞授与



愛媛県知事 中村時広様
挨拶



松山市教育長賞・松山市長賞・愛媛県知事賞受賞



閉会宣言
第2副会長 宇治田 美福



入賞者の選手のみなさん



8月第2納涼例会&海外選手団フェアウェルパーティ 8/26

計画・財務委員長 小西 亮

会長挨拶



会長 黒田 浩

8月の納涼例会、皆様のお蔭で何とか無事行うことが出来、ありがとうございました。また、会場を大谷さん(榊ドリーマー)に安くご提供頂き、大変無理も言いました。ご協力ありがとうございました。今回の納涼例会は予定もなく、前例もなく、予算もなく、どのように行おうかと言う事で当委員会でも色々と話をしました。海外選手、それも未成年がいる中お酒を飲むのか？それならナイト例会じゃなくて良いのではないか？など。イベントも何にしようかという事で、色々検討しましたが、最終結論は予算がないという事で、ありきたりなカラオケになりました。しかし、青少年育成国際関係委員会の皆さんが、初めに盛り上げて頂いたお蔭で波に乗り、非常に楽しい納涼例会になったのではないかと考えております。年末には忘年例会も控えております、また皆様のご協力をお願いいたします。

ゲスト挨拶



ビボー空手スクール指導員
ダニエル先生



南アフリカ道場指導員
マリウス先生



ゲスト紹介
八木方子

終身会員証授与



新田修敏さん



通訳 山村さん



宮本哲博さん

【報告事項及び連絡事項】



幹事 泉本明英

【テーブルツイスター
活躍の時間】



テーブルツイスター
大谷師津男

【出席率の報告】



会員・出席委員長
丸本利枝



松山白鷺ライオンズクラブ
少年少女空手道選手権大会海外選手団フェアウェルパーティー

乾杯



第1副会長 藤代 朋子



司会 計画・財務委員長
小西 亮





広がる空手道選手権大会

愛媛県中村知事インタビュー



- Q. 松山白鷺ライオンズクラブのこのような活動についてどう思われますか。
- A. 青少年健全育成の観点からこの大会をスタートさせられたと聞いています。地域に留まらず、ライオンズクラブのフットワークを生かして、日本全国はもとより海外からの選手をお招きするなど、幅広い交流になっているのは有意義な大会になっていると思います。(知事)
- Q. 知事さんはどのようなスポーツをなさるのですか。
- A. 元々、バドミントンの選手でしたが、今は、ジョギングを行っています。(知事)
- Q. 来年は、ラトビアの選手も参加して頂くよう進めています。松山白鷺ライオンズクラブ活動が愛媛県に貢献できることはございますか。
- A. 人が財産ですから、健全な子ども達の育成の為にずっと続けて頂くことが、愛媛県への貢献だと思っています。(知事)

お忙しいところ、お時間を頂きご丁寧なお答えを頂きありがとうございました。



海外選手インタビュー



お手伝い頂いた田中由樹さん

【参加選手へのインタビュー】

- Q. 今大会のため、遠い母国から松山へ旅した感想はどうですか？
- A. 東京を経由しての約11時間の長旅になりました。少し疲れましたが、松山はとても良い所ですね。

【ダニエル先生へのインタビュー】

- Q. 松山には何度か来られた事があると思いますが、どのような印象がありますか？
- A. ここはとても過ごしやすいところだと思います。街も大きすぎず、小さすぎず居心地が良いです。人もとても親切な方が多い印象です。

空手道選手権大会も9回を数え参加者も当初は151名から200名を超える参加者になりました。愛媛県を始め全国に広がり3年前より海外からの選手も参加して頂くようになりました。

また、故田中勝ライオンの奥様、ご令嬢の由樹様もお手伝い頂き、今年は海外からの選手の方に語学力を活かしインタビューをして頂きました。松山白鷺LCの「子どもの未来はまちの未来」という考えにご賛同いただき倫理法人会で知り合った泉本秀信様にもお手伝いいただきました。幅広い方々に参加していただける空手道選手権大会に育っています。



お手伝い頂いた泉本秀信さん



PR・IT委員長河田の突撃インタビュー

今回は我が松山白鷺ライオンズクラブメンバーの岡 功さんにご登場頂きました。

河 「ヘリコプターに乗られたのはいつからですか？」

岡 「免許とって15年ですよ。」

河 「きっかけは？」

岡 「姉がスチュワーデスだったこともあり、自分でもパイロットを目指していました。家業を継ぐことで旅客機は諦めましたが趣味として飛ぶことにしました。」

河 「初めて飛んだときはどんな気持ちでしたか？」

岡 「25歳の時にシアトルで飛びました。フランス系の美人の女性インストラクターと乗りました。外は霧雨で視界も悪い中トレーニングヤードに向かいました。奥の細道のような木と木の間を抜ける最中ぶつかりそうになり、教官は悲鳴を上げ、僕はキャビンの中で膠着し大木にぶつかりかけました。すごく怖かったです。」

河 「それでも2回目以降もチャレンジしようと思ったのは何故ですか？」

岡 「身の危険を感じ、もうやめたかったのですが大金を先払いしているためやめられなかったです。」

河 「免許をとった今も不安はありますか？」

岡 「毎回あります。それでも飛びたい気持ちの方が勝って飛びに行ってしまう。ニュースとかでヘリコプターの事故の話とかを耳にすると明日はわが身かと思えます。」

河 「ヘリコプターに乗る前に準備しておくことはありますか？」

岡 「お金、飛行計画、あと大事なものは遺書です。」

河 「どのくらいのペースで飛んでいますか？」

岡 「毎週1回は小倉の北九州空港においてあるヘリコプターに乗りに行きます。」

河 「今後の夢は？」

岡 「月に1回はセスナの免許を取るためにグアムに行ってます。なんとか来年中には取りたいです。」





みんなの写真部屋



横浜 夜景



Photographer
川添 紀明



唐津くんち 2013. 11. 04.



川添家 自宅 庭



クルーズトレイン 「ななつ星 in 九州」 2013. 11. 02. 佐賀駅



松山市窪野町北谷 彼岸花 2013. 09. 21.

Photographer
一矢 光一

編集後期

今回から「PR・IT委員長河田の突撃インタビュー」というコーナーを設けさせていただきました。第一回目は岡さんの趣味紹介としましたが、いかがでしたか？皆様のご意見聞かせていただくとありがたいです。

T.K

PR・IT委員会メンバー

- | | | | |
|-----|-------|------|--------|
| 委員長 | 河田 朋子 | 副委員長 | 大谷 師津男 |
| | 一矢 光一 | | 大久保 憲 |
| | 岡 功 | | 川添 紀明 |
| | 松岡 俊男 | | 脇 一文 |
| | 田窪 伸次 | | 新田 健二 |

”白鷺の住めるまちづくり”

”子どもの未来は まちの未来”

松山白鷺ライオンズクラブ

例会場:松山全日空ホテル 例会日:毎月第一・第三木曜日

事務局:〒790-0001 松山市一番町4丁目1-5 ISSEIビル3F

Tel. 089-913-1637 FAX089-934-3100

E-mail m.shirasagilc@336-a.org

HP-URL sirasagi@lions.qee.jp

発行:松山白鷺ライオンズクラブ(国際協会 336-A地区1R-3Z)

編集・印刷:PR・IT委員会